

保健体育科学習指導案

指導者 柿手 祝彦

日時 令和元年11月16日(土) 第2校時 11:05~11:55
年組 中学校第2学年1組 計40名(男子20名,女子20名)
場所 中学校体育館
単元 ダンス「現代的なリズムのダンス」

単元について

ダンスの最も根源的な面白さの中核は、人間の身体でないものを人間の身体で表現することにある。また、ダンスは、対象(現象や感情、思想など)の身体による「模倣」と言い換えられることもある。「模倣」とは、人間の身体でないものの模倣であるため、その解釈は「写し」ではなく「移し」であるともいえる。この身体の感じ取りを媒介にした積極的・能動的な「移し」は、極めて創造的な活動である。

現代的なリズムのダンスは、リズムの特徴をとらえ自由に動きを創造する学習である。その中の一つであるヒップホップダンスは、アフリカ系やヒスパニック系の低所得者層の若者たちによる自己表現として発展した歴史を持つ。人の真似を嫌い、オリジナリティを大切にしている。このように、動きを創造し、良し悪しを判断して選びまとめ、自己表現する現代的なリズムのダンスは、まさに、主体的な学びであるといえる。

本学級の生徒は、昨年度に4人組での作品作りを目標とした現代的なリズムのダンスの単元を学習している。その学習をふまえたアンケート調査では、「ダンスはみんなで協力しなきゃできなくて、だから教えたり、教えられたりすることができてみんなの仲も深まるのでそれがいいと思います」「ダンスはみんなが協力しないと合わすことができないから、ダンスを通してみんなの団結力とか絆が深まる」「私はダンスをするのが1年生の時から、たのしみだったので、まあ本気でしたいと思っている状況、どうせするなら本気でしたいと思います。本気でダンスをすることで得られる絆があると思います」など肯定的な印象を持っている生徒が多く見受けられた。一方で、「私はダンスが好きではありません。リズム感がないからです。それに動きがとても難しいです。1年生のときに、全然振り付けが決められなくて、ぐちゃぐちゃになってしまいました。だから、ダンスが好きではありません」「大勢の人の前で踊るのが恥ずかしいし、ダンスも下手だし、僕は体育でソフトボールを取り入れてもらう方がいい」と否定的な印象を持つ生徒も見受けられた。

指導にあたっては、「どうすれば、全員がダンスを好きになり、自分らしく踊ることができるようになるのか」この問いを単元全体の学習課題として設定し、毎時間、その内容を具体化していくよう単元デザインを構成した。この課題の達成を目指す中で、豊かに学ぶ生徒の姿を引き出すことができると考えている。また、学習環境の整備を行う。本単元では、生徒一人一人が自分や仲間の実態に応じて学習方法を選択できるよう、移動式ミラー、プロジェクター、iPad等を用意した。それぞれの学習の方法や効果を指導し、目的をもって学習方法を選択できるようにしたい。

指導目標

1. 全員がダンスの楽しさを味わえるようにするためにはどうすればよいのかを追求できるようにする。
2. 音楽のリズムに合わせて、自分らしさを身体で表現できるようにする。

指導計画(全13時間)

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. オリエンテーション | 1時間 |
| 2. 基本技能(ステップなど)の学習 | 2時間 |
| 3. 規定曲で基本技能を崩す学習 | 5時間 |
| 4. 自分らしさを表現する学習 | 5時間 |

本時の目標

グループで設定したテーマを伝えることができる作品をつくることができる。

学びを豊かにするための手立て

本時では、生徒の学びが豊かになった様相として、「クラス全員がグループらしさを身体で表現する姿」また、「どうすればクラス全員がグループらしさを表現することができるのかを考え、学習に取り組む姿」と設定する。そのための手立てを3点あげる。

一つ目は、全員達成という学習課題の設定を行う。クラス全員という意識づけを行うことで、生徒が豊かに学ぶ姿を引き出したい。

二つ目は、学習環境の整備を行う。生徒一人一人が自分や仲間の実態に応じて学習方法を選択できるよう、移動式ミラー、プロジェクター、iPad、ホワイトボード等を用意した。

三つ目は、振り返り活動の充実である。学習内容だけでなく「全員が課題を達成できたか」という視点からも振り返りを行っていく。その成果と課題を単元で活用していくなかで、生徒の豊かな学びを創造したい。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点（◆評価）
<input type="checkbox"/> 基本技能を活用したウォーミングアップを行う。 ・アイソレーション・アップ・ダウン ・基本ステップ8個	○ウォーミングアップの目的を意識して実施しているかを観察し、意識が低いようであれば、集合させ目的の再確認を行う。
<input type="checkbox"/> 学習課題の確認をする。	○学習課題と、課題達成に向けて何をすべきなのかを説明する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">グループで設定したテーマを伝えることができる作品をつくることができる。</div>	
<input type="checkbox"/> 課題達成に向けた学習を行う。	○課題に意識が向いていない生徒がいた場合には、他の生徒が、その生徒を学習活動に戻すように促す。 ○残り時間の伝達や課題の達成状況の確認を助言し、課題解決に向けての意識を高める。 ◆全員が学習課題を達成できるように、工夫した行動ができたか【思考・判断】。
<input type="checkbox"/> 振り返りをする。 ・全員達成できたかどうかを確認する。 ・課題を達成できた人の工夫点を共有する。	○全員が学習課題を達成できるように工夫している行動例を上げ、評価する。 ○生徒に課題を達成するために工夫したことを発言させる。 ◆グループで設定したテーマを伝えることができる作品をつくることができる。【技能】。